

## 平成 20 年度第 2 回議事録

日 時 平成 20 年 7 月 18 日 (金) 14:00～17:00

会 場 地盤工学会地階会議室

委員長	末政 直晃	○	委員	浅田 英幸	○	委員	森川 嘉之	×
委員	石川 明	×	委員	森田 宏	○	委員	スレン ソッキアン	×
委員	國分 章子	○	委員	笹倉 剛	○	オブザーバー	片桐 雅明	○
オブザーバー	伊藤 政人	×	オブザーバー	竹内 秀克	×	事業部長	古屋 弘	○
事務局	浅野	○	事務局	永田	○			

○：出席， ×：欠席

◎議事録作成担当者 ( 國 分 )

### 1. 報告事項

#### 1-1. 前回委員会 (5/23 開催) 議事録確認 (作成者：石川委員)

→末政委員長より説明があり、承認された。

建設系 CPD 協議会副会長に片桐氏、日本工学会認定委員会委員に伊藤氏が着任したことを確認した。

#### 1-2. 前回会員・支部部会報告 (6/25 開催)

→永田さんより説明があった。

職場班は廃止の方向にある。また、支部の特別会員は減少している。

#### 1-3. 前回広報委員会報告 (6/3 開催)

→浅田委員より説明があった。

- ・ HP の改訂について

見づらい部分や一定期間アクセスのないもの、リンク切れ等をキャルステーションがピックアップ中であり、その後、各委員会で確認することになっている。

- ・ G-CPD のデータと会員データベースシステムの統合についてどこが行うのか。総務？

移管した時の問題点をメティオに確認する (永田さん)。また、システムを変更した時の見積りをとる。

#### 1-4. 外部団体会議報告

#### 1-5. ☆日本工学会 PDE 協議会

- ・ 6/30 開催 第 1 回 協議会総会

- ・ ☆建設系 CPD 協議会
- ・ 6/9 開催 第 13 回 運営委員会  
→永田さんより説明があった。
- ・ 11月17日にシンポジウムを開催する。会費2000円程度。  
地盤工学会のシステムについて話す予定であるが、直前に内容を確認する。

#### 1-6. その他

- ・ 国交省 記者発表：土木学会技術者資格の追加  
→片桐オブザーバーより説明があった。

## 2. 審議事項

### 2-1. カードリーダーについて

→・プリンターについて

カーデックス(株)殿来社にてデモを行った。

「プレ印刷13000枚+プリンター+ソフト」での見積もりを依頼した。

- ・ 新カードのデザインの考案（國分委員）

- ・ カードリーダーについて

「30万パスを23台+パソコン5台」で日鋼情報システム(株)に見積もりを依頼する（浅田委員）。

### 2-2. 技術普及委員会より提案（質問）

→事業部長古屋氏より説明と質問があった。

#### 1. Web ラーニングに対しての CPD ポイント付与について

- ・ 1レッスン20分程度+問題=各レッスンが終了すると終了通知が出るシステムである。

Web ラーニング用のメールアドレスを作り、10レッスンすべての終了通知を PDF で添付して申請しする事にし、メール本文には「会員番号、名前、コース名」を明記してもらう。

保管は5年間。今回の「地盤の液状化と軽減技術」はトータル142分程度よって3ポイント付与。

2. 会場や人員の確保が難しい問題があることから、オンデマンド講習会を検討しているが、CPD ポイント付与時の留意点について

- ・ 講習を最後まで受けたことの証明を確実にする方法が必要である。（最後にアンケートがある等）

また、自己学習の CPD ポイント付与のシステムについて考えていく必要がある。

#### 3. 日経コンストラクションの誌上学習コンテンツの CPD 付与について

- ・ エビデンスが出せることが必要であるが、特定読者の雑誌であることから可能と思われる。しかし、分野が多岐に渡ることもあり、建設系 CPD 協議会にて対応してもら

う。

2-3. プログラム認定事前一括申請書作成について

→永田さんより説明があった。

プログラムの記入等、例について示す事とする。

2-4. CPDプログラム認定審査基準について

→資格取得も継続教育と考えられることから、CPD ポイント付与対象とする。

企業内研修の事後申請も認めることとする。研修終了後、3ヶ月程度をメドとする。

申請書のひな型を作成して次回確認する（末政委員長）。

次回委員会開催日　：平成20年8月25日（月）　地盤工学会　3階中会議室

→ 変 更　：平成20年9月1日（月）　地盤工学会　地階B会議室